

法人税 確定申告書（年分・平成〇〇年〇月〇日 事業年度分・ ）に係る

平成△△年△月△日

税理士法第33条の2第1項に規定する添付書面

33の2①

		※整理番号				
税理士又は 税理士法人	氏名又は名称	税理士 国税 太郎 ⑨				
	事務所の所在地	東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇				
書面作成に 係る税理士	氏 名	税理士 国税 太郎 ⑨				
	事務所の所在地	東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇				
	所属税理士会等	東京 税理士会 〇〇 支部 登録番号 第 〇〇〇〇〇号				
税務代理権限証書の提出		<input checked="" type="checkbox"/> (法人税・消費税) ・ 無				
依 頼 者	氏名又は名称	株式会社 〇〇商事 代表取締役 〇〇 一郎				
	住所又は事務所の所在地	東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇				
私（当法人）が申告書の作成に関し、計算し、整理し、又は相談に応じた事項は、下記の1から4に掲げる事項であります。						
1 自ら作成記入した帳簿書類に記載されている事項						
帳簿書類の名称		作成記入の基礎となった書類等				
依頼者が自らパソコンに入力した仕訳データに基づき、コンピュータ処理により作成した仕訳帳、総勘定元帳、試算表、貸借対照表及び損益計算書。期末整理データのみ当方入力		預金通帳、証憑書類、手形帳、給与台帳、請求書控、納品書控、売掛・買掛集計帳、請求書納品書、棚卸表				
2 提示を受けた帳簿書類（備考欄の帳簿書類を除く。）に記載されている事項						
帳簿書類の名称		備 考				
預金通帳、証憑書綴、手形帳、給与台帳、請求書控、納品書控、売掛・買掛集計帳、請求書納品書、棚卸表		・売掛明細書のうち平成〇年〇月〇日から平成〇年〇月〇日分 ・納品書(控)、請求書(控)のうち、平成〇年〇月〇日から平成〇年〇月〇日分				
※事務 処理欄	部門	業種	意見聴取連絡事績		事前通知等事績	
			年月日	税理士名	通知年月日	予定年月日
			・	・	・	・

3 計算し、整理した主な事項			
(1)	区 分	事 項	備 考
	売上高	請負契約書及び請求書(控)に基づき工事収入の計上時期の確認を行うと共に、作業日報と材料仕入請求書により工事収入の計上漏れが無いかを確認した。	請負契約書 売上請求書類 作業日報
	修繕費	修繕費については、請求書等で資本的支出に該当するか検討し、適正に処理されていることを確認した。	証憑書類
	税額控除	当期において取得した、電子計算機・デジタル複写機の合計額が×××万円以上になったので、措法42の11を適用した。適用にあたり備考欄の資料に基づき対象資産に該当するか確認した。	見積書 請求書
			税額控除について、具体的な検討事項が記載されており、疑問点の解消につながり、調査省略の際の参考となる。
(2)	(1)のうち顕著な増減事項	増 減	理 由
	雑収入	マンション防犯カメラ設置件数が前年より増加傾向にあり、各メーカーからの機器購入が増え、それによりリポートが増加したため。	リポートなど収入除外されやすい項目について、税理士が確認し、増加理由を記載しており、調査省略等の参考となる。
(3)	(1)のうち会計処理方法に変更等があった事項	変 更 等	の 理 由
	[該当無し]	[該当無し]	[該当無し]

※整理

売上高及び修繕費について、税理士が確認した事項が具体的に記載されており、調査省略等の参考となる。

※整理番号

4 相談に応じた事項	
事 項	相 談 の 要 旨
[該当無し]	[該当無し]
5 その他	
<p>○ 総合所見：</p> <p>毎月の監査時に取引内容をチェックし、仕訳の誤りがあればその都度指導し修正させています。また、決算にあたっては改めて全ての損益科目と資産、負債科目について内容を検討しました。</p> <p>以上検討の結果、提示を受けた帳簿書類の範囲において、法人の記帳は事実に基づいて行われ、申告書も法令の規定に則して作成しました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	